

貿易取引通貨別比率の推移

	通貨	2000		2001		2002		2003		2004	
		7-12	1-6	7-12	1-6	7-12	1-6	7-12	1-6	7-12	
日本からの輸出	世界	米ドル	52.4	53.0	52.6	52.7	50.7	48.0	48.0	46.8	47.5
		円	36.1	34.2	35.6	34.9	36.7	38.4	39.3	40.1	40.1
		ユーロ	6.1	7.5	7.4	8.5	8.6	9.6	8.9	9.4	8.9
		カナダ・ドル			1.0	1.1	1.1	1.1			
		オーストラリア・ドル							0.9	0.9	0.9
		その他(*)	5.4	5.3	3.4	2.8	2.9	2.9	2.9	2.8	2.6
	米国	米ドル	86.7	87.4	87.7	88.0	87.9	86.4	87.3	86.5	86.9
		円	13.2	12.5	12.2	11.8	12.0	13.4	12.5	13.3	12.9
		ユーロ	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		カナダ・ドル	0.0	0.0		0.0	0.0	0.1	0.0		0.0
		オーストラリア・ドル					0.0			0.0	
		その他(*)	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
	EU	米ドル	13.0	12.8	12.8	11.7	10.4	11.2	11.4	11.0	10.3
		円	33.5	30.4	31.3	28.4	28.5	27.4	27.3	27.5	29.3
		ユーロ	36.2	42.6	45.0	52.2	53.5	54.4	54.1	54.8	53.9
		英ポンド	6.4	6.9	7.3	7.1	7.0	6.6	6.6	6.3	6.0
スウェーデン・クローネ							0.2	0.3	0.2	0.3	
その他(*)		10.9	7.3	3.6	0.6	0.6	0.2	0.3	0.2	0.2	
アジア	米ドル	48.2	48.9	47.9	48.6	46.6	44.7	44.9	44.6	45.5	
	円	50.0	49.0	50.1	49.4	51.3	53.3	53.0	53.4	52.8	
	韓国ウォン										
	香港ドル	0.4	0.4								
	タイ・バーツ		0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.8	0.8	0.5	
	その他(*)	1.4	1.3	1.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2	
日本への輸入	世界	米ドル	70.7	70.4	69.6	69.0	67.6	68.7	67.8	68.0	69.5
		円	23.5	23.2	23.6	24.2	25.5	24.6	25.3	25.3	23.8
		ユーロ	1.2	1.8	2.5	4.2	4.6	4.5	4.7	4.7	4.6
		英ポンド				0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4
		スイス・フラン	0.6	0.7	0.8	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4
		その他(*)	4.0	3.9	3.5	1.3	1.1	1.1	1.2	1.0	1.3
	米国	米ドル	78.7	78.8	80.3	80.0	79.7	80.2	79.9	77.8	78.5
		円	20.8	20.5	19.0	19.4	19.8	19.3	19.1	21.6	20.7
		ユーロ	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.8	0.4	0.6
		英ポンド				0.1		0.1	0.0	0.0	0.0
		スイス・フラン	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		その他(*)	0.3	0.4	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
	EU	米ドル	17.5	16.9	14.8	15.0	13.4	13.2	12.0	11.8	11.7
		円	49.7	48.1	49.7	49.3	50.5	49.4	50.9	51.3	49.5
		ユーロ	8.6	12.3	16.9	28.7	31.0	32.0	32.3	32.4	34.1
		英ポンド	4.1	4.3	4.4	3.9	3.7	3.7	3.5	3.0	3.2
スイス・フラン					1.2	0.5					
その他(*)		20.1	18.4	14.2	1.9	0.9	1.7	1.3	1.5	1.5	
アジア	米ドル	74.0	74.5	74.5	73.2	71.2	71.0	70.6	70.2	71.4	
	円	24.8	24.2	24.2	25.5	27.5	27.8	28.1	28.4	27.2	
	ユーロ							0.2	0.2	0.3	
	香港ドル	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
	タイ・バーツ	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	
	その他(*)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.5	0.6	0.5	

注) 1. 比率は金額ベース。ただし、貿易統計上データのうち、貿易取引通貨が判明するデータにより財務省が作成。

2. その他(*)・・・表に掲載されていない通貨を合計して作成した。

出所) 財務省関税局「貿易取引通貨別比率」

(単位:%)

2005		2006		2007		2008		2009		2010	通貨		
1-6	7-12	1-6	7-12	1-6	7-12	1-6	7-12	1-6	7-12	1-6			
48.2	50.1	49.8	51.3	49.9	49.3	47.8	49.8	49.2	49.8	48.6	米ドル	世界	
39.3	38.4	38.5	37.1	37.9	38.7	40.3	39.4	40.2	39.5	41.0	円		
8.7	8.0	8.2	8.3	8.7	8.4	8.5	7.6	7.2	6.7	6.3	ユーロ		
		0.8		0.7				0.6	0.7	0.7	カナダ・ドル		
0.8	0.8		0.7		0.7	0.7	0.7	1.0	1.3	1.3	オーストラリア・ドル		
3.0	2.7	2.7	2.6	2.8	2.9	2.7	1.8	1.8	2.0	2.1	その他		
86.9	87.6	88.0	89.1	88.3	88.3	87.6	87.4	84.9	86.8	85.9	米ドル		米国
13.0	12.3	11.9	10.8	11.5	11.5	12.2	12.4	14.9	13.0	14.1	円		
0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	ユーロ		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	カナダ・ドル		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	オーストラリア・ドル		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	その他		
10.2	11.9	13.8	13.4	12.9	12.4	13.3	14.9	16.2	16.1	15.3	米ドル	EU	
29.3	29.3	28.5	26.6	26.4	27.4	27.8	28.5	29.3	28.0	30.1	円		
53.6	52.2	51.5	54.0	54.6	54.5	53.6	51.8	50.0	51.1	49.9	ユーロ		
6.6	6.3	5.9	5.6	5.7	5.4	4.9	4.4	4.1	4.5	4.2	英ポンド		
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	スウェーデン・クローネ		
0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	その他		
46.6	48.8	47.5	49.5	49.9	49.6	48.3	50.4	50.5	50.7	49.9	米ドル		アジア
51.6	49.5	50.7	48.8	48.4	48.6	50.0	47.9	47.9	47.5	48.1	円		
		0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	韓国ウォン		
	0.2								0.2	0.2	香港ドル		
0.5	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	タイ・バーツ		
1.3	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9	0.8	0.7	0.8	その他		
69.6	72.1	73.4	73.0	72.8	73.5	73.9	74.7	70.1	70.5	71.7	米ドル	世界	
24.1	22.1	21.2	21.3	21.4	20.9	21.1	20.7	24.6	24.2	23.6	円		
4.4	4.0	3.8	3.9	4.1	4.0	3.5	3.1	3.6	3.6	3.2	ユーロ		
0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	英ポンド		
0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	スイス・フラン		
1.1	1.0	0.8	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	その他		
77.5	76.6	77.6	75.6	76.9	78.9	79.7	76.7	78.9	79.2	78.1	米ドル		米国
21.9	22.8	21.8	23.6	22.2	20.2	19.3	22.4	20.4	19.7	21.4	円		
0.4	0.4	0.5	0.7	0.7	0.6	0.6	0.5	0.3	0.4	0.2	ユーロ		
0.0	0.0	0.0	0.0	0.1		0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	英ポンド		
0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.2	スイス・フラン		
0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	その他		
11.4	12.4	13.2	12.5	13.6	13.2	13.9	13.8	11.0	9.8	11.0	米ドル	EU	
50.2	50.7	50.0	49.0	47.7	47.7	49.6	51.5	56.4	57.1	58.0	円		
33.9	32.4	32.5	34.0	34.6	35.1	32.7	30.9	29.2	29.9	28.0	ユーロ		
3.2	3.2	3.1	3.2	3.0	2.9	2.8	2.7	2.1	2.3	2.1	英ポンド		
0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.5	0.7	0.3	0.3	スイス・フラン		
0.8	0.7	0.7	0.8	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	その他		
70.4	71.9	72.6	72.4	71.8	72.2	71.7	72.1	70.8	70.5	71.7	米ドル		アジア
28.2	26.7	25.9	26.0	26.6	26.2	26.9	26.4	27.7	27.9	26.8	円		
0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	ユーロ		
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	香港ドル		
0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	タイ・バーツ		
0.5	0.6	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	その他		

円貨建て取引の割合が高い EU からの輸入

EU からの輸入取引における円貨建ての割合が高まっている（図-1）。

財務省関税局の貿易取引通貨別比率の推移をみると、EU からの輸入における円貨建決済の割合（「円貨建輸入比率」）には次の特徴がある。

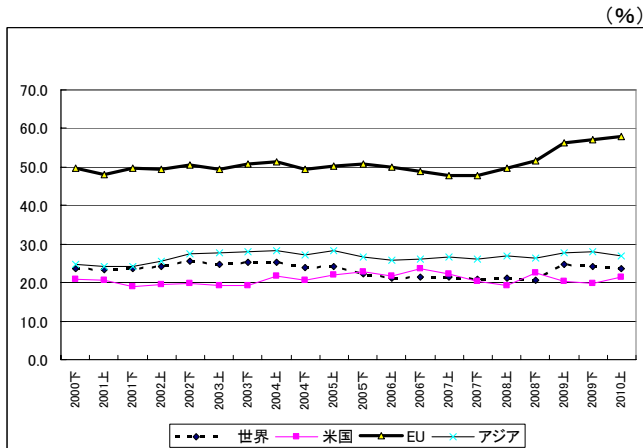
①最新時点（2010 年上半期）における円貨建輸入比率は 58.0%と 6 割に近い。他の地域の円貨建比率が、対アジアの 26.8%、対米国の 21.4%に比べ突出した高さである、

（対世界では 23.6%）。

②最近の 2～3 年に限っても円貨建輸入比率は上昇している。3 年前の 2007 年上半期は 47.7%なので 3 年間に 10%ポイントを超える上昇である。特に、2008 年以降の円貨建比率は上昇傾向にある。

③円貨建輸入比率の上昇に伴い、米ドル建輸入比率は 13.6%から 11.0%に、ユーロ建て輸入比率は 34.6%から 28.0%に低下している。

図－1 輸入取引における円建て比率の推移



貿易取引における決済通貨の選択は比較的安定している。その要因として、取引相手の意向（都合）を無視し自社の一時的な都合だけで勝手に決済通貨を変えることがしにくいこと。国際市況商品のように長年の取引慣行があること。輸出先市場での競争状況を考慮して決められる、などがあげられる。

決済通貨の選択割合が安定的であるとの前提にたつと、EU からの輸入だけ円貨建て取引の割合が上昇したのは、なぜなのか？

【円貨建て輸出のメリット】

考えられるのは、EU 企業が円貨建輸出をすることにより日本での販売の業績に為替の影響を受けにくくなること。特に、円貨建決済にすることで親子会社間取引の場合は、為替リスクを日本の子会社に負わせることを避け、日本での販売価格を安定させるメリットがある。輸出先(日本)の通貨建ての選択は、輸出先(日本)での販売価格を安定させる価格設定の方法（“PTM”：Pricing-to-Market）を推測させる。ただし、貿易取引通貨別比率のデータを得られ

ないので、EU 諸国の企業が輸出先ごとに価格設定しているかどうかは分からない。

【円貨建て比率の上昇時期とユーロ・円相場の動き】

円貨建て比率の上昇時期と、ユーロに対し円高が進んだ時期（2008 年後半以降）は、ほぼ重なっている。2006 年以降のユーロの対円為替相場は 140 円台であったのが、2007 年後半から 2008 年半ばまで 160～170 円の幅の「円安」。2008 年 7 月を境に「円高」傾向に転じ、2008 年後半以降の 130 円前後、最近の 2010 年 6～7 月では 110 円前後までユーロ安の傾向が続いている。ただし、決済通貨の選択が安定的な性格からユーロ安（円高）の時期と円貨建て比率の上昇時期が一致しても、円建て取引にシフトしたとは断定できない。

【EU 諸国からの輸入商品の特性】

取引通貨の選択には貿易品目の特性によることが多いので、EU からの輸入品目の状況をみている。円貨建取引の輸入額が大きい品目の輸入が増加し円貨建て比率を高めた可能性

があるからだ。そこで、日本の対 EU (15 か国) を HS4 桁レベルで、2007 年と 2009 年を比較をした。品目別構成比が大きく変化した品目の特徴は次のとおり。

- 品目別構成比が低下した最大品目は自動車である。乗用車と部品（エンジンを含む）の 3 品目で 4.02%ポイントの低下である。
- 増加ポイントが著しいのは医薬品と医療機器。両者の 5 品目で 6.10%ポイントの上昇である。他に、タバコが 2.66%ポイント上昇している。

そのことから、EU からの輸入商品の円貨建比率が上昇したのは、輸入額の増減が与えた可能性が高く、以下の推測ができそうである。

1. 円貨建てでない品目の輸入の減少。輸入の減少が目立つ自動車は米ドル建やユーロ建での輸入が多いと推察されるので、自動車の輸入減少が円貨建輸入比率を高めた可能性がある。
2. 円貨建ての品目の輸入額の増加。輸入増加が著しい医薬品などの

輸入は、円貨建が多いと考えると円貨建比率を高めた可能性が高い。医薬品は親子会社間取引が多いこと。日本で販売価格は日本の医療保険制度と深い関係にあり、円貨建輸入価格の方が為替変動に左右されず（特に円高の場合）、販売価格が安定した薬価基準となるので輸出者にとって有利に働くことも円貨建取引が多いのではとの推測につながる。

3. 日本を経由して第 3 国に輸出するなどの国境を越えた「生産ネットワーク」に組み入れず、日本に持ち込まれた商品の大多数は日本で販売されている。このため、EU、日本以外の第 3 国の市場での競争条件を考える必要が乏しいことも円貨建比率が高める要因になる。

なお、ユーロ安円高が 2 年以上進行しているにもかかわらず、『円高還元セール』などの動きが、以前と比べて弱いのも特徴といえる。

（国際貿易投資研究所 増田耕太郎）